思總司令部に成らせられ西 以下各將星に對し調を賜つ 生活に關する經濟問題につ 生活に關する經濟問題につ 生活に關する經濟問題につ 生活に關する經濟問題につ 生活に關する經濟問題につ 生活に關する經濟問題につ 生活に關する經濟問題につ 生活に關する經濟問題につ 生活に關する經濟問題につ 生活に關する經濟問題につ

路御東上

# 宮殿下

行所 EI 46.17 特份第一 AAA

本の老人でも、今か

どこへ行つても、若い者ばかりで、それが經験はもちろんのこと、大した識見も知識さへも有たず、いはんや人生の深さも廣さもわきせへぬくせして、権力だけは不相應に與へられてあるといふのでは、まことにもといふのでは、まことにもといふのでは、まことにも

湿の途につかぜられた の御疲勞の御色もなく御歸 所京日日新聞社 第日日新聞社 第日日新聞社 越 內 改 榮 之 余 忠 

## はせられた、十八、十九、 州の三日間に亘り武漢三強 州の三日間に亘り武漢三強 市は南昌方面等の各地に至 日南京に御薦、西は岳州、 日南京に御薦、二日午後一 時南京御護、 空路上海へ向 はせられた 福岡發御史上 し向 も、男も女も、一般に親切 神に對し、君に對し、大工、とか、やさしみとかに缺け 神に對し、君に對し、五、とか、やさしみとかに缺け かい、もつたいない、とか、やさしみとかに缺け かい、もつたいない、とか、やさしみとかに缺け かい、もつたいない、との人は少いであらう金電話 想報謝の念の強いところの人は少いであらう金電話 想報謝の念が甚だ乏しい「中文キラボウなることに る日本人にはどうもこのレルやうなのが少くない▲ 優にやさしい情味だ、心レルやうなのが少くない▲ 優にやさしい情味だ、心レルやうなのが少くない▲ 優にやさしい情味だ、心しくら相手の顔が見をねか ゆとりとうるほびだ▲流

下行に

總司令官よ

一狀を御聴収

京に御着、直ちに支那派遣中分飛行機にて上海より南十分飛行機にて上海より南

地急襲

支に巨弾の雨

報道部二日午後四時選表ト連 日版四省奥地敬主要據點の 日本前午後の二回に互る敵 の猛烈なる防禦砲火を冒し の猛烈なる防禦砲火を冒し なる損害を興へ全機無事 なる損害を興へ全機無事

の敵を急追

四日 常東京米穀事務所長 東京米穀事務所長 米穀局米政課技師 米穀局米政課技師 日井 陸治

大臣官房調查課理事官 大臣官房調查課理事官

命審達局家畜保險課長。 水產局水產課長 布米費哥小產課長 協和會指導會議

台 専盟等に関しこれが運営方 家について審議を行ひ、正 第一旦休憩、午後一時四十 分再開、政府諸政策の普及 の書表 會議室に開催、義勇率公園が出口に引續さ中央本部第一部日に引續さ中央本部第一

その他會組織の統一强化に と表示の成果を重ね、續いて一 に基く具體的實施要領轄立 上多天の成果を收め終了、 中では、 上の大の成果を收め終了、 を表示の成果を收め終了、 とのは、 との

選擧に立候補 給事大統領

1ニューヨークー 日發 國 でのた著名のニューヨーク てのた著名のニューヨーク でのた著名のニューヨーク のぼつ のでのぼつ のでのでのでのでのでのでのでのでのできます。 が対してより際にのぼつ 選舉職に無出本行二日正式 として一九四〇年の大統領候補

ごことはせぬであらう」は、野でとり英國の如く至めたの人するが如い、ドイツは本間 ▲石原美二夫氏 岡谷商店) 三日來京三國ホテル 「一本小川久夫氏(會社員)同 本永禮正雄氏(三井物産)

10

練所へ) を対している。 東京で三百七十七名(二版 大で三百七十七名(二版 大で三百七十七名(二版

事往二









B

「コペンハーゲン二日愛國 ・ 本電によればフインランド ・ 政府はソ聯軍の猛攻を避け るため選都するに決心しへ ルシンキを放棄した、但し は音當

> ツクホルム二日 待機の姿勢

**愛表したと** 

れる

こ、休、强

議に晴れの代表として重大ルガ関境確定委員會チタ會 地方の終止符ぶ

部長の招宴に臨んだ

國際聯盟へ提訴

ク二日發國

チタ代表

抗議を提出した、なほフ し抗議を提出した、なほフ し抗議を提出した、なほフ と対議を提出した、なほフ を を は で あると

海岸地帯 ランドランド に衝撃を ボーデンド

機輸出を禁止機輸出を禁止

モを奪還

紛争に介入せず

獨、傍觀態度表明

政府は今次のソビ

訴することに

と関係聯盟に提

現在の所り聯軍はフインラ ルムリ 現在の所り聯軍はフインランド政略 森林地 主要作戦はフインランド政略 森林地 をしてラドガ湖の北方に潰 てある たせしめんとするにあるが てロン をしてラドカーの地方に潰 てある。 

> ア源 聯軍

イッ外務省は二日の記者園との定例會見においてソ聯 フィンランドの紛争に對する態度につき次の如く表別した

イテル電に依ればフィ 北方の要地ベッアモシ したと言ばれる、ベッ は卅日開戦間もなくソ

は券後退

ソ聯の對ラインランドが

権と

ンド進入に對する抗議の意味から對ソ軍用機の「道義 中から對ソ軍用機の「道義 大変を表現の報道によれば國務 場に宛てソ聯に對する軍用 場に宛てソ聯に對する軍用 は一日既に各飛行機製作 大変を表現した右命令はルーズヴェル とた右命令はルーズヴェル

(ペルシンキ二日強関通) が軍は後退を除儀なくされた。 た旨競表された、ソ聯空軍 は二日朝スインランド南北 部各地を空襲し、トルネア が議道破壊を企てたが高射

軍兼任長

総司令李守 ・関重釜衡

の間に

スンゲ帯及びその附近 等の電製項目を含む修好和 は の割譲 の割譲 の割譲 の割譲 のり 勝へ おいり ア地峡のり 勝へ おいり ア地峡のり 勝へ おいり ア地峡のり 勝へ おいり ア地峡のり 勝へ おいり は 地震を アインランドより ア

をみられる。

おにより

刊四頁

黄將軍福建丁

福建住民大好威

鐡則た

れた中華民國建國

義成文の研究

佛海の南氏等

支那派遣軍總司令部に會堂旬わが宣傳主任、幕僚等が

**旦傳主任、幕僚等**。

## 明年紀元節祭 全國神社で大祭 は

一定規律の統制ある行事次では五日内閣情報部に内務

第を定め全國一齊に整然たった。

九段

0

明春三月第二次舉

# で亞の責任を分擔

江精衛、新中國を語

重慶部內右

龍雲の反共に同情

新民會副會長(北京二日漫殿通)二日王 「北京二日漫殿通」二日王

三郎、新民會中央指導 「馬、新民會指導官安 「馬、新民會指導官安 「東、新民會指導官安 「東、新民會指導官安 「東、新民會指導官安 「東、新民會指導官安 「東、新民會上、「東京」 「東京」 「 「東京」 「東京 「東京」 「東京 「東京」 「東京 「東京 「 「 「 東京、 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「

(日 曜 月)

義の理論と實際」

を加へられた一切の歪曲悪と、新しき三民主義の解釋と、新しき三民主義の解釋

教園の第一の要決は中國 るか 三民主義の目的 になる。これ上表の目的 如何にして三 を實行す 國て的

ソ西北地における最大 地三 4 級國通)重慶よ

第の代表機関人個を主 軍の見舞つた巨弾は宝 軍の見舞つた巨弾は宝

がいである會社法改正 人つて同社では目下家 のと正式調印を完了し

鼓浪嶼工部局

尼福田氏推薦

改正 護受けることに決定して居政事 の一部變更並に新重役陣を上流 に乗り出すことゝなつた、上派とも参加に當つて満洲で、 に乗り出すことゝなつた、 に乗り出すことゝなつた、 に乗り出すことゝなつた、

敵將校、官吏死傷多數

肺地管理方法決る

現耕作者の

安定考慮

豫附め住る特回持す

海長の指揮の下に緊長された30年 新用整備地内住民の保護 が用整備地内住民の保護 が現住民によりが ででは現在の他 では現在の他 ではれてゐる土地について されてゐる土地について は が現住民によりが ではれてゐる土地について ではれてゐる土地について ではれてゐる土地について ではれてゐる土地について ではれてゐる土地について ではれてゐる土地について ではれてゐる土地について ではれてゐる土地について できるが現住民によりが できるが現在の他

磁和

とゝなつた、なほ耕地の貨付料の増進は慣行小作料より地方に適應せる適當な率の機能としたことは今後國家小作の増大する傾向に鑑み小作の大きで、開拓財産管理要制左の如し、開拓財産管理要制左の如し、開拓財産管理要制左の如し、

新京一の

三笠町三ノー (元山粹跡) 電③六三三八番

種方策を協議したが右に出 保、輸送の圓滑化に闢し種 保、輸送の圓滑化に闢し種

活必需品會社では過般東

歸連語る

の同社常務木村正道氏は

俱 樂 部 第二回發表

木村生必常務

日本と共に大亞細亞主義へ

3 をして歐来の經濟使略と 経大生は二つの方案を定め た生は二つの方案を定め たまは二つの方案を定め が努力する事であり、第 同努力することである、これに對し孫 孫先生の中日關係に對し孫 孫先生の中国開係に對し 孫先生の強護に對すると協

重慶政府が締結か

「香港二日發國通」重慶來」において関死した、同人は「宋子文香港入 電によれば最近アルマ・ア」三月中旬まで第九穀福長沙は、「西港二日發國通」信ずべ タにおいて 東慶常局とソ聯 防衛地區の唇戟軍として中 ・ 一週一往復の定期航空路が 南昌戦において羅卓英軍が ・ 一月から二日にかけて王鳴 ・ 市昌戦において羅卓英軍が ・ 一月から二日にかけて王鳴 ・ 市昌戦において羅卓英軍が ・ 一月から二日にかけて王鳴 ・ 一月が、 同日から二日にかけて王鳴 ・ 一月が、 同日から二日にかけて王鳴 ・ 一月が、 一月が、 一月がら二日にかけて王鳴 ・ 一月が、 一月が、 一月が、 一月がの情報によれば宋子文 ・ と動りに會合して時局問題 ・ と別りに曾合して時局問題 ・ と別りに曾合して時局問題

大量建體を急ぎついありそれの。 「ない。」 「ない。 「。 「な、 「な、 「な、 「な、 「な、 「な、 「な、 「。 「な、 「な、 「。 「な、 「。 のため工業力を總動員して「ベルリン二日發國通」ドイツ政府は目下海上戦に主

現在のドイッチェランド 要は、 を要には、 を要には、 を要には、 を要には、 を要には、 を要には、 を変更には、 を変更に、 を変更を、 を、 を変更を、 を、 を変更を、 を変更を、 を変更を、 を、 を

本セルロイド、日本化成、 日本電化の三社参加に就て は先般※同社離波常務理事 は先般※同社離波常務理事 で、日本化成、 日本電化の三社参加に就て が東上三社側と折 洲電化建設 三社参加も H の正式決定をまつて本月十 正式調印

獨の建艦能力倍加

会署、省会署をはじめ諸会 世しめた、その他の被害も 世大と見られそのため綏靖 指はその極に達して居る が出市中の混乱、人心の動

新酒

撃による火災は耐近民家に 大名以上に及んだ、更に爆 大部に破府官吏の死傷は六 大部に破壊した外支那軍將

明春を期

新艦續々竣

支航空協定

一は共同防共、一は經濟 一は共同防共、一は經濟 一は共同防兵 一は共同防衛が提出さ には三個の原則が提出さ には三個の原則が提出さ には美師で年十二月

民主義と和

秦皇島に向ふ

とりすき

御宴會は廿五

英駐市軍

理事長日比勝治(日本電化)が、発展では、一般のでは、一体ので

陣は大體左の 加

修

凌で傑作です。 上原級日本総典・調

(記) 二十番州 (本) 一年 (本) 一



門 專 肛內 門科 病 科 松木



骨董的陳列さけて

に實現せんとの優悟を限めた博物館建設の持論を早急

教、階の風

國都にまた自慢

活きた博物館を

藤山副館長談

第き息召し

のものか」と成して、再三申さんで、再三申さんな和線が、よのんな和線を借りが、

救護作業に勤務してる 満を戦ひ身命を賭して 満を戦ひ身命を賭して 満を戦ひ身命を賭して

御菓子を下賜 日赤救護員に

事務局を協和自中央本部内 種屬視事業について検討の についても審議し、事務局を協和自中央本部内 種屬視事業について検討の つてをり、日本側の 店補助金、密附金、酸金の つてをり、日本側の 店補助金、密附金、酸金の つてをり、日本側の 店補助金、密附金、酸金の つてをり、日本側の 店補助金、密附金、酸金の つてをり、日本側のたが、來る六日第一回委 年々頭に當り満洲枫が中外 くも脈々としてわる。

についても審議し、早&-

加招請もあつて新 加招請もあつて新

\*\*粉雪降る日曜日

LINEW 銀化は花咲競ふ LINEW SCANNOL ON SOLD NO. SELVINOL ON SELVINOL ON

## 慶就

### 感激満つ 物六九八列車が追突、三二り貨物三二〇列車に上り貨場要子駅構内停車中の上

國婦協和の集

初春またずして早くも湧く

盟邦日本の聖典奉讃

の奇特な行為に係員を感激

新州國防婦人會では嫡系婦 数の一部に充てよる 人會員を更に多數獲得する と三國を置いたよ 人會員を更に多數獲得する と三國を置いたよ 人約三百名を集め、張總理 中井店員伯耆勝子 大人、星野操夫人等幹部出 さんと名蘂つたが、 常の下に「協和の集」を催 んは十一月二十八日 席の下に「協和の集」を催 んは十一月二十八日 中が、當日は茶菓の接待、 勤途中へ同僚の千代 すが、當日は茶菓の接待、 勤途中へ同僚の千代 満系會員の獲得へ 張ひて名を聞いたところ三 と三國を置いたまく

林檎を許数日乃

に適し凍結の憂ひなき處 来年三月末頃迄 を

果

一番店

おでん小夜改めかでん小夜改めかでん小夜改めかでん小夜改め 仲居さん募集

電話(3)五人五人番人



新京朝日通東二條領数

## 0 壯行會 様とも不通となったが間も なく復奮した、荷六九八列 なく復奮した、荷六九八列 事の機陽助手宮田富次、機 手田代猪之助兩氏は輕傷を 開拓 地方行政 首脳者 講習 會 日前南國間に今回制定され 日下徐罪を追及してあるをせしめてゐたもの、如く

**純對安靜思** 

日 と特質、開拓地の建設、開 留を開催してゐるが、第三 日(三日)は宇崩九時から 保健、各省、縣主任者六十 のもとに輸拓の使命

金ゆゑる

街の開業隊

に非難

△詐欺收賄 元九台蒙租局

は三日午前十時から協和會新京市内の中小學校教員大會

との理 さこ拠分 との理 さこ拠分 との理 さこ拠分 大和通某 当期朝引出して 支 排 ふか 技術の腎 観とも判明せぬものを信息が が技術の腎 観とも判明せぬものを信息が 出来ない」と非道にも入 を取消し、規則を積に多 こまえのを記入の儲金道帳を提示 との理 さこ拠分 である。 である。 である。 ではない。 ではない。 を取消し、規則を積に多 この行気で、 ではない。 を取消し、 を取消し、 を取消し、 を取消し、 を取消し、 を取消し、 を取消し、 をいるのを信息が とった。 である。 ではなる。 ではなな。 ではなな。 ではなな。 でなな。 でなな。 でなな。 でななる。 でなな。 でな。 でなな。 でなな。

對 兩洲割當决定

分を期し研究中のところの趨勢に鑑み要員の公平

阿部中将起露祭 数元を遂げた阿部規秀中將をリシが関すの響 数元を遂げた阿部規秀中將をリシが関すの響 数元を遂げた阿部規秀中將をリシが関すの響 数元を遂げた阿部規秀中將をリシが関すの響 数元を遂げた阿部規秀中将をリシが関すの響 数元を遂げた阿部規秀中将をリシが関すの響 数元を遂げた阿部規秀中将をリシが関すの響

及表情者に對する制限令には新卒業 進すべく満洲、日本に對す なると満洲國側の絶對必要 なると満洲國側の絶對必要 なると満洲國側の絶對必要 を当に提出した要求數は一 生省に提出した要求數は一 生者に提出した要求數は一 生者に提出した要求數は一 生事によると六千七百四十 るべく目 後表によると六千七百四十 るべく目 後表によると六千七百四十 るべく目 後の準備 針の奉仕で

國婦のプレゼント

慰問袋二萬個



サポールド 用として經濟的經便なり の附着せる機械器具の御ミガキ御台所用品、金物類の錆付き油 一般所負は十 部部 部部

店

支

店 新京

店 新京豊樂路七〇五番地店 新京豊樂路七〇五番地 電話3 町八四の番地 天津、北京·青島、東京 電話代表(300年)八番地

御用命は電話の三回のの書へ

保刑一般法律事務 民刑一般法律事務

廣告の

電話②三

履極書(自統)遞送相成度面會日追而當方